

教育長 教育行政報告



道教委「新たな高校教育に関する指針」 北後志地域は「再編統合」

学校教育

今年度児童生徒数は167人
今年度の新入学児童は10名
(美国小学校9名、日司小学校1名)で小学校6校の全児童数は108名(前年度比18名減)中学校の生徒数では59名(前年度比4名増)という状況です。

新学期の主要な学校行事の春季遠足や運動会、中学校の体育大会など事故なく終了したとこ
ろです。

児童生徒の安全対策

各地区婦人会に腕章配布
学校の管理下における事件・事故が全国的に多発している近年の状況を踏まえ、学校においては校内の安全管理の徹底や児童生徒の指導上の課題解決など事故の未然防止に向け、町内小・中学校相互における指導等の情報交換など関係者が連携を密にし、安心して学べる環境づくりに取り組んでいます。

また、通学路等における子どもの安全確保に向けた、より効果的な地域ぐるみの運動を広めるために、これまでの取り組みのほかに自主的なパトロールボランティアとして、積丹町女性団体連絡協議会の組織下にある



各地域婦人会に「防犯パトロール」の腕章を配布し、地域ごとの実情にあつた安全通学の確保に努めていただいています。

生涯学習

発達段階に応じた学習機会の提供
社会教育の推進については、積丹町社会教育中期計画の基本方針である「生きがいがあり、潤いのある地域づくりを求め、自ら学び自ら行動する社会教育の推進」を具現化するため、新たな知識の習得や学習機会の場の提供などそれぞれの学習領域において事業を推進しています。

これまで各学習領域において実施された主な事業内容は、高齢者教育では、4月27日文化センターにおいて第1回リフレックスシユ学級の開級式を行い、年間



8教室の学習活動が始まりました。第2回の学級では18名の参加による研修視察を実施しましたが、昨年度より若干の減少となったものの、高齢者の学習意識は高い傾向にあります。

また、家庭教育においては第1回少年教室(陶芸教室)が文化センターにおいて5月27日に32名が参加して開催されました。この教室は町内の小・中学生を対象とし、陶芸を通じて手作りの楽しさと物を大切にすることを育成する目的で実施されたものです。

社会体育

プールは7月1日オープン
町民の健康づくり、体力づくりに寄与する生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進しているところです。

第17回のB&G杯争奪ゲートボール大会は5月12日に開催され、4チーム14名が参加、昨年度より1チーム増という結果でした。

今後、予定しています各種スポーツ大会の開催及び各体育施設の利用促進に努めていきます。また、海洋センタープールには、7月1日オープンする予定で準備を進めているところです。

公立高校の配置計画案

北後志地域は再編統合
北海道教育委員会が昨年8月に示した「新たな高校教育に関する指針」に基づく公立高等学校配置計画案が6月5日に公表されたところです。

この計画案によると北後志地域(古平町、仁木町、余市町)において生徒の学習環境の充実を図る観点から総合学科として再編統合される見通しですが、新設高校として設置される町村名は公表されておりません。

いずれにしても、再編統合によって、遠距離通学となる経済的負担や路線バス利用の通学が困難となる地域の実情を踏まえ、通学支援等について北海道教育委員会と協議していきます。

審議された案件

報告第1号

専決処分承認を求める件
 (平成18年度積丹町一般会計
 補正予算・第7回)

現行予算に9、819万8千
 円を追加し、26億9、985万
 8千円とするものです。

歳入においては、

所得譲与税 16万5千円

地方交付税 18万9千円

基金繰入金 47万6千円

繰越金 8、236万7千円

歳出においては、

他会計繰出金

1億1、829万8千円

等をそれぞれ増額するものです。

(承認)

報告第2号

専決処分承認を求める件
 (平成18年度積丹町簡易水道
 事業特別会計補正予算・第5回)

現行予算2億5、546万9

千円の歳入について、一般会計

繰入金1億624万1千円を増

額し、歳入欠かん補填収入を同

額減額するものです。

(承認)

報告第3号

専決処分承認を求める件
 (平成18年度積丹町国民健康保険
 事業特別会計補正予算・第5回)

事業勘定において、現行予算
 7億4、777万7千円の歳入
 について、一般会計繰入金のう

ち、保険基盤安定等繰入金40万

円、職員給与等繰入金175万

円、助産費繰入金85万円を減額

し、その他繰入金を300万円

増額するものです。

また、直診勘定において、現

行予算8億8、277万2千円

の歳入について、外来収入のう

ち、国民健康保険診療報酬収入

370万円、社会保険診療報酬

収入200万円、老人保健診療

報酬収入981万8千円、一部

負担金収入400万円を減額

し、一般会計繰入金を1、95

1万7千円増額するものです。

(承認)

報告第4号

専決処分承認を求める件
 (平成18年度積丹町下水道事
 業特別会計補正予算・第3回)

現行予算1億353万2千円
 の歳入について、一般会計繰入
 金1、063万1千円を増額し、

歳入欠かん補填収入を同額減額
 するものです。

(承認)

報告第5号

専決処分承認を求める件
 (平成18年度積丹町介護保険事
 業特別会計補正予算・第4回)

地方自治法の規定により、介

護保険システム改修費211万

6千円について、平成19年度に

繰り越して歳出予算を使用しよ

うとするものです。

(承認)

報告第6号

平成19年度介護保険事業特別
 会計予算繰越明許費繰越計算
 書

平成18年度積丹町介護保険事

業特別会計予算の繰越明許費

は、平成19年度に繰り越したの

で、地方自治法施行令の規定に

より報告するものです。

報告第7号

専決処分承認を求める件
 (平成19年度積丹町国民健康
 保険事業特別会計補正予算・
 第2回)

事業勘定1億2、892万3
 千円・直診勘定7億7、577
 万2千円に係る前年度繰上充用
 金の専決処分です。

(承認)

報告第8号

積丹町土地開発公社の運営状
 況

地方自治法の規定により報告

するものです。

(報告)

議案第1号

積丹町固定資産評価審査委員
 会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価

審査委員会委員3名の選任につ

いて、地方税法の規定により同

意を求めるものです。

・小寺 猛 氏(美国町)

・杉山 覺 氏(入舩町)

・安宅 範子 氏(余別町)

(同意)



議案第2号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

町長、副町長の給料月額及び期末手当の支給率の引き下げを、積丹町特別職報酬等審議会の答申を経て行うものです。

(原案可決)

現行予算に94万1千円を追加し、23億6、867万円とするものです。

歳入においては、
緑資源機構造林事業費負担金

3、220万円増額

地方交付税 420万円減額

前年度繰越金

2、705万9千円減額

歳出においては、

公共施設等事業系ごみ処理手数料 300万円

造林地作業道新設工事費

3、220万円

老人保健特別会計繰出金

750万円

などの増額

下水道事業特別会計繰出金

4、150万円

バス運行業務委託料

760万円

などを減額するものです。

(原案可決)

議案第6号

平成19年度積丹町老人保健特別会計補正予算(第1回)

現行予算に750万円を追加し、5億8、990万円とするものです。

歳入においては、一般会計繰

入金750万円、歳出において

は、社会保険診療報酬支払基金交付金前年度精算償還金750万円をそれぞれ増額するものです。

(原案可決)

議案第7号

平成19年度積丹町下水道事業特別会計補正予算(第1回)

現行予算9、203万6千円の歳入について、一般会計繰入金を4、150万円減額し、資本費平準化債を同額増額するものです。

(原案可決)

選挙第1号

北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
町村議会議員の区分において

北海道後期高齢者医療広域連合規約の規定により、すべての町村議会の選挙により当選人8人を決定するものです。

(選挙)

請願第1号

平成20年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担

率1/2還元等教育予算の拡充を求める請願書
紹介議員 大橋正雄議員

(採択)

陳情第1号

生活保護の「母子加算」廃止に反対する国への意見書を求める陳情書

(採択)

陳情第2号

地方財政に関する意見書採択を求める陳情書

(採択)

陳情第3号

労働法制の拡充を求める陳情書

(採択)

陳情第4号

最低賃金法の抜本改正と均等待遇を求める陳情書

(採択)

議案第4号

積丹町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の月額給料の支給額の削減及び勤勉手当の支給率の引き下げ等を行うものです。

(原案可決)

議案第5号

平成19年度積丹町一般会計補正予算(第2回)